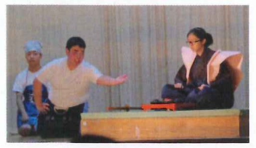
【全校演劇】

全校生徒がキャスト，スタッフとして演劇に取り組みました。今年度は，落語「目黒のさんま」になぞらえた，オリジナル劇「大島のホタテ」を演じました。



【全校合唱】

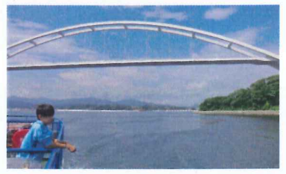
大島が生んだ詩人　水上不二氏が作詞した「アスナロウの木」を全校で合唱しました。

また市内小・中学校音楽祭でも，大島小学校の児童の皆さんと一緒に，発表しました。

【船から見た大島】

遊覧船に乗り，船から大島の写真を撮影しました。4月に開通する「気仙沼・大島大橋」の下をくぐったり，大島の姿を船上から眺めることで，「緑の真珠　大島」の良さを改めて確認できました。

《フォトギャラリー（生徒の作品）》

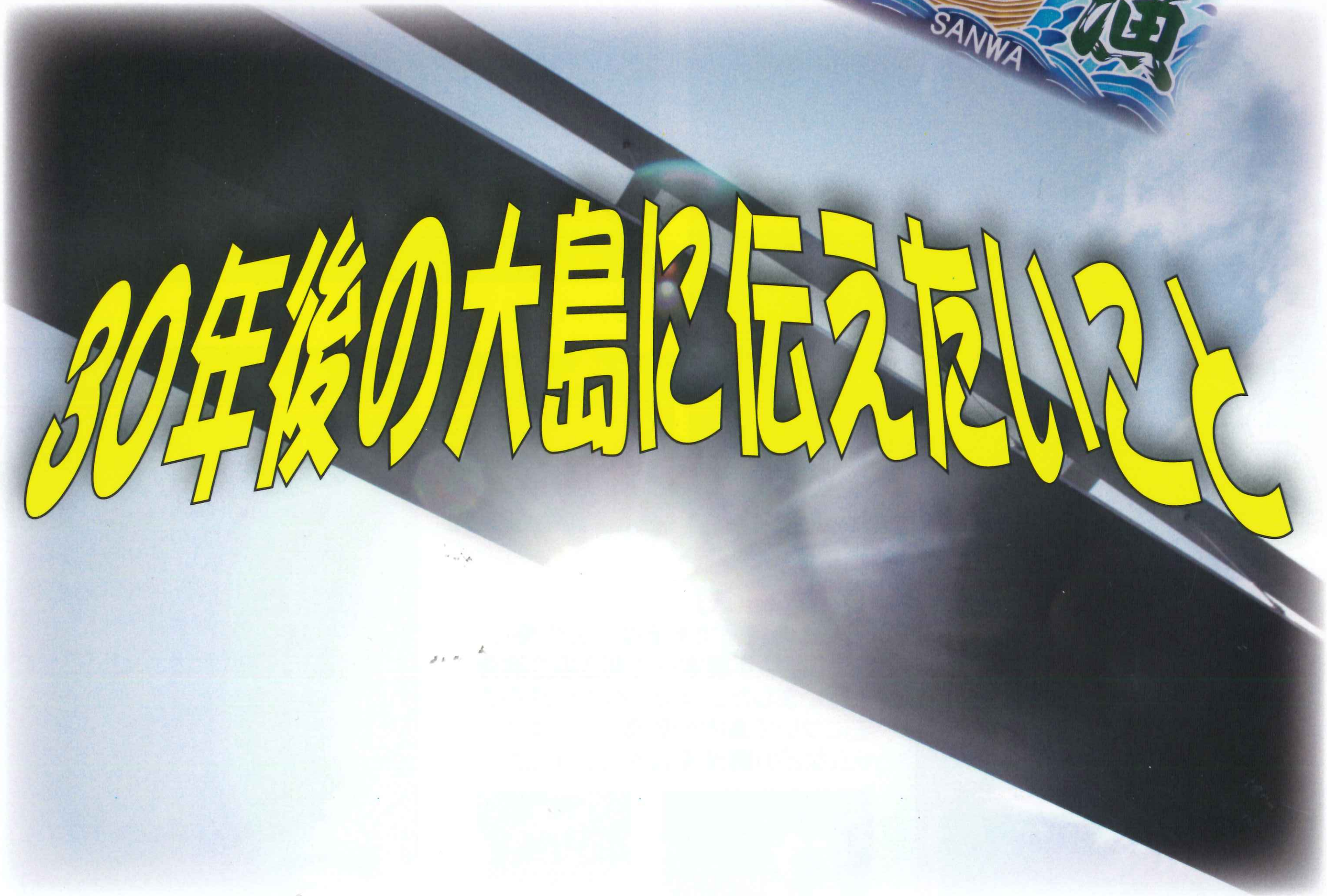


日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
海洋教育促進研究センター
笹川平和財団
海洋政策研究所

宮城県気仙沼市立大島中学校

住　所　宮城県気仙沼市高井 40番地
電　話　0226−28−2610　　FAX　0226−28−3255
E-mail　ohshima-chu@kesennuma.ed.jp
U R L　http://kesennuma.ed.jp/ooshima-cyuu/

30年後の大島に伝えたいこと



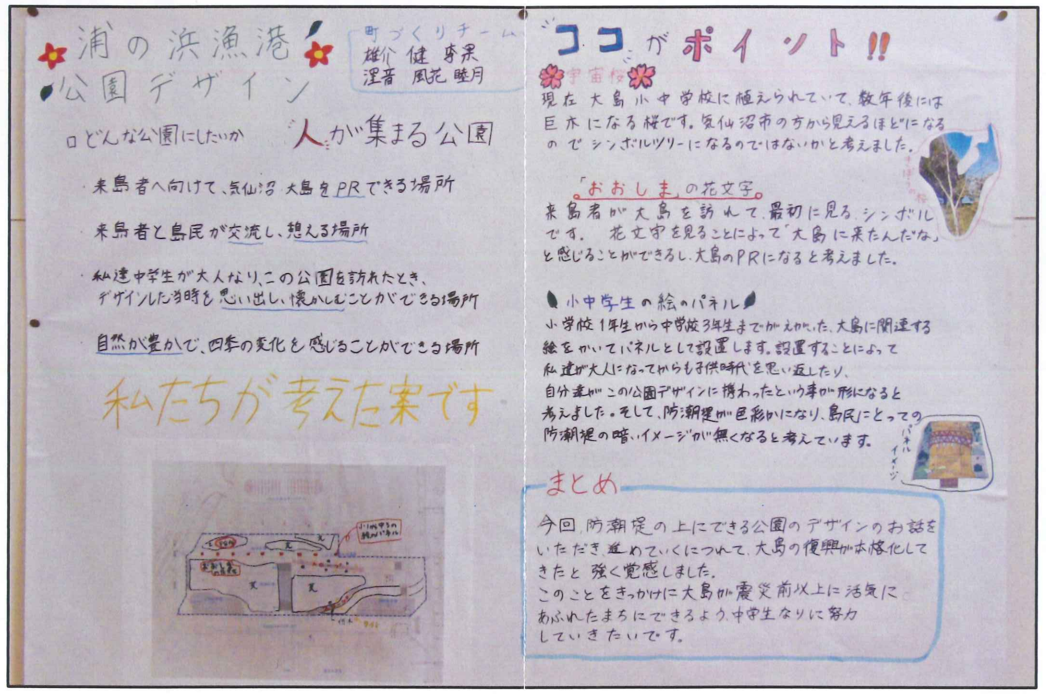
平成30年度「総合的な学習の時間」報告

島ゼミ

全校生徒が４つのゼミに分かれ，「大島の良さを，未来に伝えていくために，今の自分たちにできることを考えよう」をテーマに学習してきました。

地域の方をはじめたくさんの方々のご協力をいただき，調査活動や体験学習から大島の良さに気づくことができました。

学習で学んだことを，30 年後の大島に伝えていきたいと思います。



【つばきコース】

大島に自生するつばきの生態調査と，大島地区老人クラブ連合会の方と協力し，椿の実の採取を行いました。

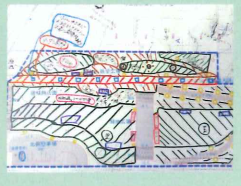
椿油のボトルに貼付するラベルのデザインを考えました。

【ゆずコース】

大島の特産であるゆずの生態について，ゆず農家への聞き取り調査を行いました。また，ゆずの活用方法について島内の飲食店で，ゆずジャムなどの調理実習を行いました。

【まちづくりコース】

宮城県気仙沼地方振興事務所水産漁港部の方の指導のもと，浦の浜に建設される，防潮堤の頂上部分にできる公園デザイン案を考え，提案しました。



【海洋コース】

海洋ごみ（漂着ゴミ）と地球温暖化などの環境への影響について調査しました。また，ホタテ養殖について，大島と他地域の比較をしながら調査しました。

【海洋教育の取組】

Ⅰ　ホタテ養殖体験学習

宮城県漁協大島出張所青年会及び女性部のご協力のもと，小学６年生から中学３年生まで，4 年間に渡ってホタテの養殖体験学習を行っています。

【1 年】

ホタテ貝に付着した貝や海藻を除去します。その後，ホタテの耳に穴を開け，ピンを通したものをロープに差し込みます。最後に約 20 枚のホタテをつけたロープを本校専用の筏につるします。

【2 年】

前年度までに育てたホタテを水揚げし，付着物を除去した後，養殖業者の方を通して，市場に出荷していただきます。（今年度は出荷の様子をビデオで視聴しました。）

【3 年】

ホタテのむき方を教えていただきました。また，ホタテご飯の作り方を教わったり，オリジナルのホタテ料理を作ったりした後，みんなでおいしく試食しました。

Ⅱ　海洋教室・海洋講話の開催

- 国土交通省東北運輸局主催の「海洋教室」に参加し，「大島汽船」等，海に関する職業の方々から，講話をいただきました。また，建設中の「みらい造船」の見学や船上から大島の写真を撮影しました。
- 気仙沼水産試験場や東北大学の先生から，海に関するお話をしていただきました。

Ⅲ　ソーラン演舞

大島中の伝統である「大島ソーラン」。今年も大島小・中学校合同運動会で，小学生と一緒に勇壮な舞を披露しました。また震災を機会に始まった目黒区立東山中学校との交流会で，踊り方を指導し，交流を深めました。

Ⅲ　そのほかの活動

① 櫂ねり体験学習

１年生の生徒が地元漁師のみなさんから「櫂ねり」の方法とウニの採集方法を教えていただきました。

② 海洋教育子どもサミットへの参加

全校生徒で海洋教育子どもサミットに参加しました。自分たちの取組を発表するとともに，他校の取組を知ることができました。